

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 4月 10日

【評価実施概要】

事業所番号	0191000025		
法人名	医療法人社団中山会 新札幌パウロ病院		
事業所名	グループホーム冬桜		
所在地	江別市大麻東町31-5 (電 話) 011-386-3000		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成20年2月22日	評価確定日	平成20年4月10日

【情報提供票より】(19年12月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和 <u>平成</u> 19年4月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 12人, 非常勤 5人, 常勤換算	15.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造		
	2 階建ての	1~2 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	55,000 円	その他の経費(月額)	16,000~20,000 円
敷 金	有 (円)	<u>無</u>	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) <u>無</u>	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,310 円		

(4) 利用者の概要(2月22日現在)

利用者人数	17 名	男性 8 名	女性 9 名
要介護1	4	要介護2	8
要介護3	4	要介護4	1
要介護5	0	要支援2	0
年齢	平均 86.2 歳	最低 73 歳	最高 96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団中山会 新札幌パウロ病院
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は母体法人の医療機関により、3ヶ所目のグループホームとして平成19年に開設された。医療面において充実し、常に適切な健康管理が行われており、利用者本人・家族の安心に繋がっている。事業所内全体が広々としバリアフリー建築で、車いすや歩行器での移動も快適である。また、敷地内には八重桜が植えられ、菜園では野菜を栽培するなど、利用者と職員がともに四季を感じながら過ごしている。職員は熱意を持ち、一人ひとりの思いに寄り添いながら日々のケアサービスを実践し、利用者はゆったりと生活している。開設して間もないが、今後も地域に根ざし、利用者がその人らしく生活することが期待できる事業所である。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	外部評価実施は今回が初めてである。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員間で項目を分担し、全員で自己評価に取り組んでいる。また、評価結果を真摯に受け止め、サービスの質に活かしていくことを検討中である。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	昨年は運営推進会議を2回開催し、事業所の運営状況や外部評価の取り組み状況等について自己評価表を資料として提示し報告している。また、構成員と意見交換を行い、意見・助言等を受けサービスの質の向上に活かしている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	事業所内部・外部の苦情相談窓口を設置し、契約時に利用者本人・家族に説明している。また、家族の来訪時に職員は必ず声かけをし、利用者の近況報告や事務連絡を行うとともに、家族が相談しやすい雰囲気づくりに努めている。また、運営推進会議や来訪時に家族から意見・要望等を受けた場合は、カンファレンスで話し合い、全職員に周知するとともに事業所の運営に反映させている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会の行事や、ボランティアの受け入れ等を通じて地域住民との交流に努めている。また、町内会に加入し、地域との連携強化を図っている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	母体法人共通の「大切な命を元気で楽しい命に」という理念に基づき、日々のケアサービスに取り組んでいる。しかし、地域密着型サービスとしての、事業所独自の理念を構築するまでには至っていない。	○	職員は地域密着型サービスの意義を十分に理解しており、実践に努めている。今後は、法人共通の理念に加え、現状に即した事業所独自の理念を検討することが期待される。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は理念カードを携帯し、確認しながら日々のケアサービスに取り組んでいる。しかし、全職員が理念を十分に理解するまでには至っていない。	○	今後、理念について話し合う機会を設け、全職員が理念を理解することが期待される。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣小学校の運動会・地区センター主催の転倒予防教室などの地域の行事に参加したり、園芸ボランティア・学生ボランティアを積極的に受け入れるなど、地域住民との交流に努めている。また、町内会に加入し、地域との連携強化を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員間で項目を分担し、全員で自己評価に取り組んでいる。また、外部評価の結果を真摯に受け止め、更なるサービスの質の向上に活かしていく予定である。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	去年は運営推進会議を2回開催し、事業所の運営状況や、外部評価への取り組み状況等について、自己評価表を資料として提示しながら報告している。また、構成員と意見交換を行い、意見・助言等を受け、事業所の運営に反映させている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者や地域包括支援センター職員と連携を図り、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	広報誌を発行し、利用者の暮らしぶりや行事の様子等について家族に伝えている。また、家族の来訪時には職員は必ず声かけをし、近況報告や金銭管理について報告するとともに、利用者の状態変化や緊急時には速やかに連絡している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	事業所内部・外部に苦情相談窓口を設置し、利用時に本人・家族に説明している。また、職員は日頃から家族が気軽に意見・要望等を伝えやすい雰囲気づくりに努めている。運営推進会議開催時や来訪時に家族から意見等を受けた場合は、カンファレンスで話し合い全職員に周知するとともに、事業所の運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの職員による支援体制を取り、ユニット毎に職員を固定するなど工夫し、利用者が安定した生活を送れるよう支援している。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は職員の研修機会の確保に努め、職員は積極的に受講している。受講後は研修内容を会議で報告し、全職員で情報共有を図っている。	○	今後も全職員が内部・外部の研修に参加する体制を整え、職員のスキルアップを図るとともに更なるケアサービスの質の向上に取り組むことが期待される。また、全職員がいつでも研修報告書や資料等を閲覧出来る様、保管方法を検討することが期待される。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市の管理者会議や、グループホーム交流会に参加し、他事業所職員と交流を通じてサービスの質の向上に取り組んでいる。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前に利用者本人・家族と面談する機会を設け、事業所の雰囲気に馴染めるよう配慮している。また、入居後も本人のペースを尊重しながら対応し、不安の軽減を図っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々の暮らしにおいて、食事の準備や後片付けを利用者と職員が一緒に行ったり、料理の味付け・裁縫等を利用者から教えてもらうなど、互いに支え合う関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は利用者との会話から、一人ひとりの希望や意向の把握に努めている。また、困難な場合は、利用者の表情や家族からの情報をもとに把握し、本人本位となるよう支援している。また、一人ひとりの意向等を細かく記録し、職員間で情報を共有している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	医師・看護師の助言を踏まえるとともに、本人・家族の意見や要望を採り入れ、全職員でカンファレンスを行い、介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月ごとの介護計画の見直しを行っている。また、月に2回行っているカンファレンス時に、モニタリングを細かく行い、現状に即した介護計画となっている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	母体法人との医療連携体制により、医師や看護師による利用者の適切な健康管理を行っている。また、本人・家族の状況に応じて、通院時に付き添うなど、柔軟な支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関の医師による訪問診療のほか、これまでのかかりつけ医に継続して受診できるよう支援している。また、主治医が交代する場合には、情報提供書をもとに検討するなど、適切な医療を受けられるよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時に重度化・終末期に向けての対応について本人・家族の意向を確認し、協力医療機関と連携を図り、話し合いを重ねて方針を共有している。		
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報保護に関する取り扱いを定めており、入居時に利用者家族と同意書を交わしている。また、記録をする際には、イニシャルで記載するなど、プライバシーを損ねることのないよう適切に対応している。	○	今後、さらなる利用者のプライバシーを尊重する配慮に留意するとともに、事業所内の要所に目印を付けるなどし、見当識への対応に取り組むことが期待される。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は利用者の力やペースを見極め、散歩・買い物・外出など一人ひとりの希望に沿い、ゆったりと過ごせるよう支援している。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の力を発揮しながら、食事の準備・調理・後片付け等を職員と一緒にやっている。また、事業所の畑で収穫した野菜を使用して調理するなど、食事が楽しみなものになるよう工夫している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	職員は利用者の体調を考慮し、プライバシーに配慮しながら寛いで入浴できるよう支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家事・花畑や菜園の作業・手芸・ダンスなど、一人ひとりの力や趣味に応じた役割や楽しみごとの支援を行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物など、利用者の希望に応じた外出支援を行っている。また、地域の行事・イベントへの参加や外食など、日常的に外出できるよう支援している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	管理者は鍵をかけることの弊害を理解しており、夜間を除いて鍵をかけないケアに取り組んでいる。しかし、全職員へ十分な周知を図るまでには至っていない。	○	今後、職員間で鍵をかけることへの弊害について話し合う機会を設け、職員一人ひとりが意識を高め、鍵をかけないケアに取り組むことが期待される。

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得ながら、避難訓練を実施し、避難経路の確認や消火器の使用訓練を行っている。また、地域で開催された災害図上訓練への参加を通じ、緊急時に地域から協力が得られるよう働きかけている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量を個別に記録しており、職員間で情報を共有しながら支援している。また、系列事業所の献立を参考にしており、栄養バランスに配慮した食事内容となっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は明るく広々としており、雛人形や生け花などが飾られ、季節感を感じられるよう工夫している。また、廊下の奥にはソファ・テレビ・書棚を設置したスペースを設け、居間以外にも利用者が寛げるよう工夫している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者が使い慣れた家具・仏壇・趣味の物等が持ち込まれており、本人が居心地よく過ごせるよう配慮している。		

※  は、重点項目。